

# 原子力災害避難計画改定案で議論

災害対策特別委員会が15日開催されました。「上越市原子力災害に備えた屋内退避・避難計画」の改定についてがテーマでした。

当市の計画は2015年（平成27年）に策定されていましたが、今回、初めて改定されます。これは「新潟県原子力災害広域避難計画」などで、安定ヨウ素剤の配布体制やスクリーニングの実施体制などが修正されたりしたこと、当市の計画に反映させたものです。ただ、県内の関係市町村が一斉に改定に入っていないようです。

当市の計画で修正した、あるいは新たに加えた主なものは、

①複合災害が発生した場合においても人命の安全を第一とし、自然災害による人命へのリスクが高い場合は、自然災害に対する避難行動を取り、安全が確保された後、原子力災害に対する避難行動を取ることを基本とする。

②市及び県は、国が屋内退避指示を出している中でも、自然災害を起因とする緊急の避難等が必要になった場合は、人命最優先の観点から、独自の判断で避難指示を行う。

③新型コロナウイルスのような感染症の流行下において原子力災害が発生した場合、住民等の被ばくによるリスクとウイルスの感染拡大によるリスクの双方から、住民等の生命・健康を守ることを最

優先とする。

④屋内退避の指示によりUPZ内（原発からの距離が30<sup>+</sup>圏内）の自宅等で屋内退避を行う場合には、放射性物質による被ばくを避けることを優先し、屋内退避の指示が出されている間は原則換気を行わない。ただし、一時集合場所等においては、感染症対策の観点から、放射性物質の放出に注意しつつ、30分に1回程度、数分間の換気を行うよう努める。

などとなっています。行政側から説明を受け、委員会では、「福島県飯館村のような例もある。30K圏外の安定ヨウ素剤の配布はどうするか」「スクリーニングの場所は海岸沿い中心だけでなく、高田などの中に入ったところにもあっていいのではないか」「屋内退避中の換気は新型コロナ対策との関係で誰が判断するのか」などの質問が相次ぎました。

注目したのは屋内退避中の換気のタイミングの判断です。県の3つの検証委員会の報告会では、私の質問に対して県側は、「感染のリスクと放射性物質の汚染



のリスクのどちらかを選ぶことになる」と答えていましたが、今回、市側は「現地には線量計などを置くが、換気の判断は国が指示を出す。ホットラインも敷いている」と踏み込んだ答弁をしました。

今回の大雪でも国道などでの車の立ち往生、大渋滞が発生しています。避難計画の議論は、ますます重要になっています。



板倉区で18日、議会報告と懇談の集いがありました。会では、私からこの1年間の議会での活動を報告した後、参加されたみなさんから、質問、要望などをお聴きしました。

「リフレ上越里山振興の問題はなぜ起きたか」「J・ホールディングスはどうなるか」「総合事務所の職員はもっと地元職員の増やしてほしい」「新年度予算が決まったら、総合事務所は区内関係の予算の一覧表を区民に配布してもらいたい」などの声が出されました。

## 集いで要望、注文相次ぐ

【ヒイラギナンテン】メギ科の常緑広葉樹の低木。漢字で「柗南天」と書きます。別名は「トウナンテン」。ヒイラギと似て、葉はトゲ状になります。花期は3月～4月ですが、すでに咲いているところもあります。花は黄色、付け根から先へとたくさん咲くので見事です。花言葉は「激情」「愛情は増すばかり」です。吉川区小苗代にて17日撮影。

はしづめ法一の  
活動レポート

No.2091 2022.12.25

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第七三八回 初雪の日に

ドカーン。突然、私の寢室を揺らすような大きなカミナリが鳴ったのは、日曜日の朝、夜明け前のことでした。

これは雪おろしだ。いよいよ来たな。そう思った私は、枕元に置いてあるスマートフォンを引き寄せ、時刻を確認しました。午前五時二十一分でした。

この日は朝早くからやるべきことがいくつもありません。ブログ(日記)を書く。直江津の三八市へ行き、宣伝をする。板倉区で市政を語る集いに参加する予定です。

予定したことを確実にやるためには、六時には起床して事務所に行き、パソコンに向かっている必要はありませんでした。ところが、ドカーンという音で時計を見たところにより、もう少し時間があると判断し、再び眠ってしまったのです。その結果、スタートから調子が狂いました。遅くとも八時半には事務所を出る予定でしたが、実際には九時を回っていました。

この時間には、雪はすでに五センチほど積もっていました。強い風も吹いています。こうなれば、板倉区への移動だけでも四十分以上はかかるかも知れない、そう思い、直江津での朝市宣伝は断念し、直接板倉区へ向かいました。

雪の降り始めはすべりやすく危険です。車は時速四〇キロ前後のスPEEDで走りまわりました。この日の二日前、大島区等の雪道を走っていましたので、雪道は今冬に入ってから二度目でしたが、それも緊張しました。県道新井柿崎線を南に進めば、雪は少しずつ増えていくに違いない、そう思っていたのですが、意外にも南に行くほど路面の雪は減り、板倉区では道路にも田んぼや畑にも雪がありませんでした。

路面状況が良かったことで、板倉区の集いの会場には午前九時五〇分過ぎに到着、一〇時の開始時間に楽々間に合ったのでホッとしました。

集いでは、私からこの一年間の市政の動き、一二月議会でとり上げた大雪時の災害救助法適用問題などを報告しました。しかし、参加者からの質問は第三セクター問題がトップでした。雪が降ってれば、違った展開となったかも知れません。

この日は昼食後、直江津は「ライオン像のある館」での音楽イベント、「寄り道ライブ」にも顔を出してきました。会場の音響の良さに加え、Kさん夫妻の献身的な支援もあり、いまや、このイベントは上越だけでなく、中下越や隣県からも出演希望者があるほど発展してきています。この日は長岡市の電気屋さんとTさんのデュオ、「シャンテ」などの演奏を楽しみました。

天候さえ良ければ、もう少し歌を楽しみたいと思っていました。この日は直江津も荒れ模様で、雪は高田よりも多く積もっていました。

こうなると、心配なのはわが家の除雪です。じつはまだわが家の除雪機は試運転をしていなかったのです。そもそもバッテリーがあがっていないだろうか、キャタピラはまともに動くだろうか。そんなことを考えながら、わが家へ急ぎました。

わが家の除雪機は事務所入口脇の格納庫にしまっており、夕方四時前には、格納庫前に到着、懐中電灯を照らしながら、外していたバッテリーの線を接続してみました。スイッチを入れると、バッテリーランプがすぐに点き、エンジンも一発でかかりました。足回りも大丈夫です。ああ、良かった。これで降っても大丈夫……。そう思った、何となく疲れが出ました。

初雪の日はいつもあたふたします。雪がないときの気持ちの切り替えがなかなかできないのです。でも、そうも言っていられません。すでに本格的な冬に入っています。どんなに降ろうとも、ここは雪と共に暮らすのが当たり前の雪国ですから。

## ピアス、クリスマスソングなど楽しく演奏

17日の午後からは頸北地域を中心に活動している音楽グループ、ピアスのクリスマスコンサートが柿崎区のコミュニティプラザでありました。

「サンタが街にやってくる」「ラストメトロ」「夜がくる」など素敵な歌声を堪能しました。サンタの衣装をした若い女性が歌に合わせて見事な踊りを披露し、びっくりしました。

また、藤本秀結城(ひでゆき)さんの民謡と三味線で、「頸城松坂」などを聴きました。これもまた見事でした。

最後の曲はピアスのポーカル、マコさんのオリジナル曲、「出会えて良かった」です。最高に素敵な曲でした。

※右の画像は吉川生涯学習フェスティバル作品展でのYさんの作品



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月15日(水)	12月22日(水)
上越南消防署	0.057	0.057
上越北消防署	0.057	0.050
新井消防署	0.057	0.053
頸北消防署	0.053	0.047
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.063	0.057
高士分遣所	0.057	0.053